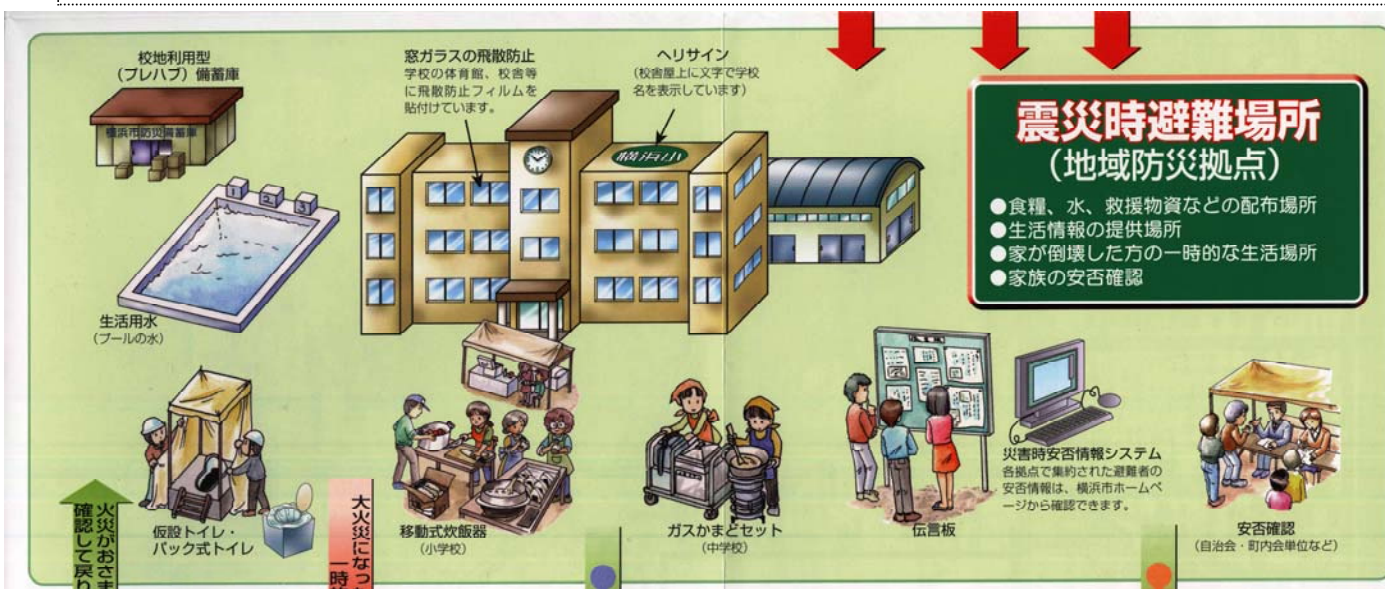


中部自治会防災ニュース

ごあいさつ:先月の防災ニュースでは皆さまから一番質問の多かった「いつとき避難場所」について考えてみました。今月はやはり質問の多かった、「震災時避難場所(地域防災拠点)」について勉強してみましょう。さらに、家族間の安否確認方法と、もし怪我をしたら、について考えてみました。

大きな震災が来た場合、お隣さんや近所の方と助け合い、「いつとき避難場所」で相談したり、家に留まらない場合に「震災時避難場所(以下地域防災拠点)」に行ったりするのでしたね。ところで「地域防災拠点」には何があるのですか。

防災についての説明の原点はやはり「青葉区 ガイドマップ・防災マップ」じゃな。防災ニュース第2号で紹介したが、基本なのでもう一度見てみよう。



地域防災拠点の備蓄庫には、仮設トイレ、炊飯器、かまどなどの他、下記の防災備蓄品がある(ただし主な防災備蓄品)。詳しくはパソコンで「青葉区防災拠点」を検索すれば見られる。

| | |
|------|--|
| 食料 水 | 乾パン 水缶 おかゆ 粉ミルク+哺乳瓶 水あめ |
| 生活用品 | 高齢者用おむつ 乳幼児用おむつ 生理用品 トイレットペーパー 移動式炊飯器又はガスかまどセット |
| 救護用品 | リヤカー グランドシート 毛布 テント型トレイ パック式トイレ ろ水機 給水用水槽 松葉杖 保湿用シート |
| 救助用品 | 発電機 投光機 担架 つるはし 大工道具 エンジンカッター 油圧ジャッキ ハンドマイク ヘルメット その他 |
| その他 | ごみ袋 軍手 その他 |

この地域の防災拠点は、美中と美小ですが、2校とも同じなのですか？

左ページで見たように、移動式炊飯器(小学校)とガスかまどセット(中学校)の違いはあるが、基本的には同じ防災備蓄品となっている。しかし設備・機能の違うものもあり、青葉区防災マップで見てみよう。



左地図のとおり、美中と美小との違いのひとつは★マークと■マークだが、いずれも飲料水の設備で、★は「緊急給水栓」で■は「循環式地下貯水槽」と呼ばれているが、給水という機能面では同じものじゃ。

一番の違いは美小の⁺マークで、これは地域医療救護拠点と言って、災害時に巡回医療チームが派遣される拠点で、そのため備蓄医薬品があるということじゃ。

その「地域医療救護拠点」について教えてください。怪我したらどうすれば良いのかは切実な問題です。

病院や診療所や学校は、災害時に機能を分担しあう訳じゃが、実はわしもこの点は詳しく知らんのだ。それで10月16日に美小でおこなわれる「防災のつどい」で勉強して来ようと思っている。

それでは是非私もご一緒させてください！
最後に、地域防災拠点はいつも開いているんですか、また区の方や先生が従事しているのですか？

いつも開いているわけじゃない。震度5(強)以上の地震が起きたとき開設する、とされている。そして地域防災拠点の運営は、主に地域住民によって行われている。各拠点にはそれぞれ「防災拠点運営委員会」という組織があり、大半は各自治会から選ばれた住民で、ほかに学校の教職員の方、民生委員などとなっている。毎年、地域防災拠点では防災訓練や10月16日のような「防災のつどい」があるので、皆さんも是非参加してほしいものじゃ。ちなみに過去の「防災のつどい」から防災備蓄品の写真を紹介する。



美しが丘小学校の防災備蓄品の例



美しが丘中学校の防災備蓄品の例

ま、自宅で失われた寝場所、情報、家族との絆、水トイレ食事などといった「安全」「安心」の代替を求める場所が地域防災拠点ということじゃな。隣近所や息子・娘、親戚の家に避難する者も多いじゃろうが、大震災のときのより所となるのがそこだということじゃ。

3. 11でも携帯電話や固定電話で家族との連絡が付かない方が多かったですと聞いていますが、どうしたら良いんでしょうか。

これも青葉区防災マップに載っていたな。

家族の安否確認

大災害発生時には、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板サービスが利用できます。

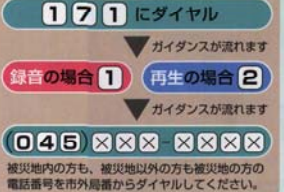
災害用伝言ダイヤル「171」

被災地域とその他の地域間での安否情報等を音声により伝達する「ボイスメール（声の伝言板）」です。

◆提供開始や録音件数等の提供条件についてはNTTで決定し、テレビ・ラジオ等でお知らせします。

◆「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。

◆録音された伝言は、被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。



携帯電話 災害用伝言板サービス

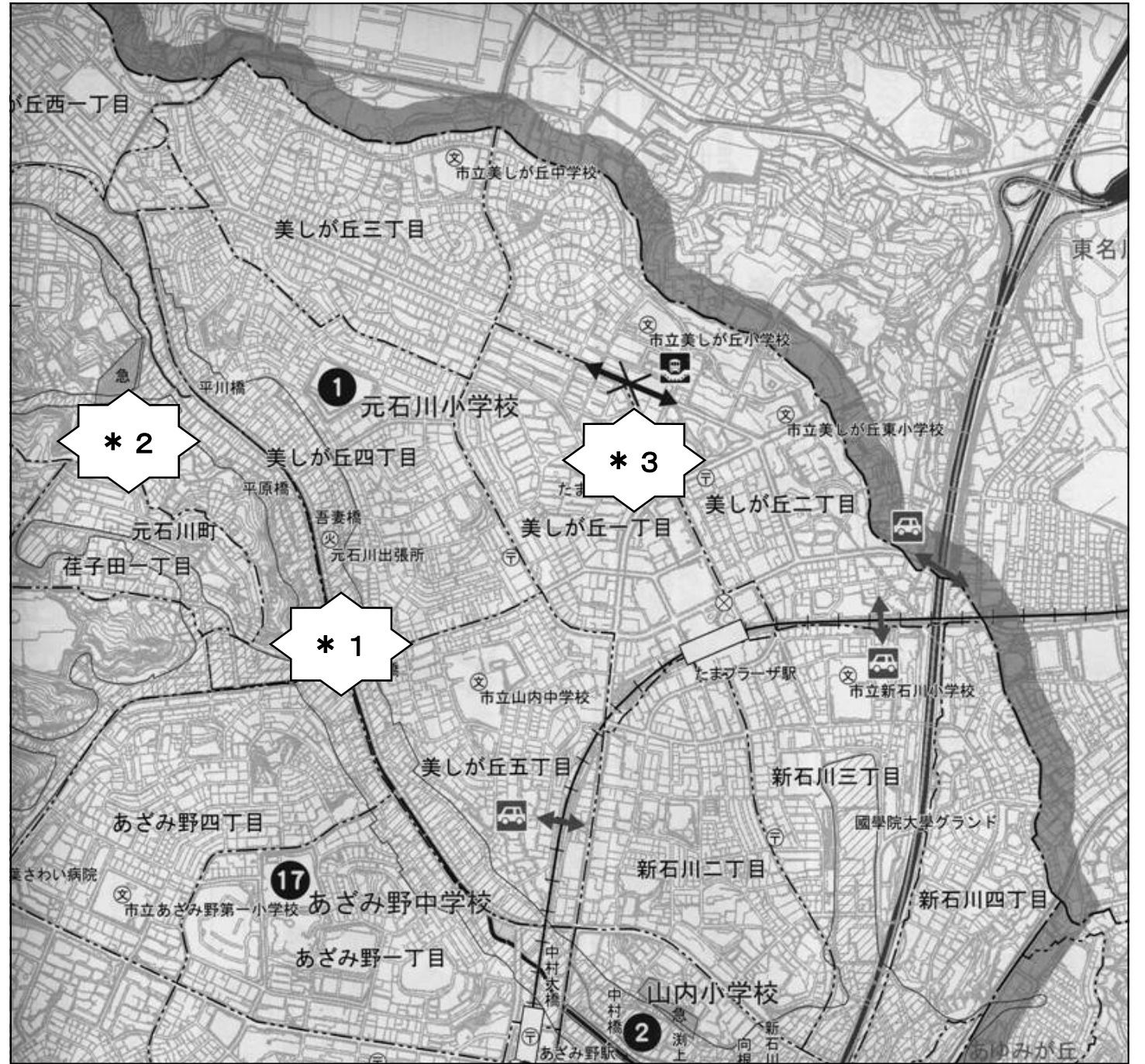
携帯電話やPHSからも、安否情報の登録や確認をすることができます。それぞれの携帯電話・PHSの「トップメニュー」から「災害用伝言板」を選択して下さい。他社携帯・PHSおよびパソコンなどからも、家族や友人の安否情報をご確認いただけます。

Table listing mobile providers and their URLs for disaster message services: NTTドコモ, au by KDDI, ソフトバンクモバイル, イー・モバイル, ウィルコム.

まず固定電話や携帯電話の通常の音声通話はダメになるということじゃな。対応としては左図のように「災害用伝言ダイヤル171」と「携帯電話 災害用伝言板サービス」のほか、「携帯電話の通常のメール」は音声通話より繋がり易いそうじゃ。ほかにもうひとつ「災害用ブロードバンド伝言板（web171）」があるそうじゃが、そういえば3. 11のとき「ツイッター」が大変有効であったということから、インターネット網は比較的繋がる確率が高そうじゃな。そこまでいくとアナログ系のわしには無理だ。今回ためしてみた2人の会員の方から話を聞いて来たので、紹介しよう。

そうね、自分で試してみないとダメね。あと聞きたいことは、火災への対処と、急な災害に対しての家庭での備えかしら。

うむ、火災への対処については来月勉強してみよう。そのあとは家庭での備えじゃな。今月は紙面の都合もあり、付録として洪水ハザードマップというのを紹介してみよう。



これは平成21年横浜市が発行した青葉区の洪水ハザードマップの美しが丘1～5丁目を中心とした地図じゃが、当中部地区は、*1の早淵川治いのような浸水のおそれのある地区もなければ、*2のような急傾斜地崩壊危険区域もなければ、液状化のおそれのある地区もない。唯一*3の大雨時に水がたまりやすく通行止めの可能性のある道路があるのみで、これも今、対応の工事中じゃ。何度も言うが、だからといって決して覚悟と備えをおろそかにできないのが、災害への対応じゃ。

よくわかりました。また来月もお願いしますね、「鉄じいさん」。

「災害伝言ダイヤル171を使ってみて」
秋の防災週間にあわせて、8月31日に「171」災害伝言ダイヤルを体験利用してみました。私がウィルコムのPHSから「171」へ電話し、自宅の電話番号（045 - 9XX - XXXX）を指定してメッセージを録音しました。それを、都内や市内に住む家族に、自宅の固定電話やdocomoの携帯電話を使って聞いてもらいました。
初めて「171」を使ってみましたが、ガイダンスに従えば問題なく録音、再生できました。災害時「171」を使って身近な人の安否を確認する場合、相手の自宅の電話番号が必要になるので、メモをして自助袋に用意しておく必要を感じました。
体験して分かったことは
●伝言を再生、利用する時に指定する電話番号は、被災地の固定電話であること。携帯電話やPHSの電話番号では、メッセージを残せないと知りました。
●「171」は平時は利用できず、使い方を練習したい人用に体験利用日が設けられていることでした。
【体験利用提供日】・毎月1日15日（00:00～24:00）・正月三が日（1月1日00:00～1月3日24:00）
・防災週間（8月30日9:00～9月5日17:00）・防災とボランティア週間（1月15日9:00～1月21日17:00）
【体験提供条件】・蓄積伝言数10伝言・伝言録音時間30秒・伝言保存期間6時間、だそうです

「遠方に連絡拠点をつくる」
子どもの学校から教えられた方法を紹介します。
1. 家族で遠方に「連絡拠点」を設ける。親戚や知人で昼夜連絡のとり易い番号を1つ決め依頼しておく。（ただし固定電話であること。携帯やPHSはダメ。）
2. もしもの緊急時に、家族間の連絡が取れない場合、家族が各々その番号に連絡し、他の家族に状況を伝えてもらう。
3. 大規模災害時は固定電話や携帯電話より、公衆電話の方が繋がりがやすいそうです。

